

排出事業者向け

# 廃プラスチック対策 セミナー

Web  
開催

参加費  
無料

廃プラスチックを排出する事業者の皆様を対象に、諸外国における廃プラの輸入規制に伴う国内処理への影響、リサイクルを推進するための方法等の情報を正確にお伝えし、分別の徹底によるリサイクルの取組と適正処理を促すためのセミナーを開催いたします。

## 開催概要

公開期間：令和3年1月18日（月）～1月25日（月）

視聴方法：YouTubeによるオンライン視聴（ご自宅・事務所等からご参加いただけます。）

講演時間：全体で2時間程度

- プログラム
1. 基調講演「プラスチック類の資源循環利用の現状」  
一般社団法人プラスチック循環利用協会 総務広報部 富田 斉 様
  2. 講演①「プラスチックを取り巻く国内外の最新状況と今後の輸出関連施策について」  
環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 山王 静香 様
  3. 講演②「排出者責任と生産者責任を繋ぐ サーキュラー・エコノミーの実現に向けて」  
レコテック株式会社 野崎 衛 様
  4. 講演③「ファーストリテイリンググループ 資源の有効活用の取り組み紹介」  
株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部 岡田 恵治 様
  5. 講演④「マテリアルリサイクルの拡大にむけて ～分別模範と現状課題～」  
株式会社市川環境エンジニアリング 篠田 達弘 様

申込方法：廃プラスチック対策特設サイト

「セミナー開催案内」ページよりお申し込みください。  
<https://www.tokyokankyo.jp/waste-plastic/seminar>



廃棄物の分別の徹底や適正コストの負担の促進等により、  
廃プラスチックの適正なリサイクルを推進するために――



# セミナープログラム



## 基調講演「プラスチック類の資源循環利用の現状」

一般社団法人 プラスチック循環利用協会

総務広報部 広報学習支援部長 富田 斉 氏

1960年生まれ。1984年、民間企業に入社。

その後、転職を経て2016年プラスチック循環利用協会に出向、現在に至る。

プラスチック及び廃プラスチックの循環的な利用に関する教育・学習支援並びに広報を担当。



## 講演①「プラスチックを取り巻く国内外の最新状況と今後の輸出関連施策について」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐 山王 静香 氏

2010年、慶應義塾大学法学部政治学科卒業。同年に環境省に入省し、地球環境局総務課、地球温暖化対策課に勤務。

東日本大震災後の省エネ対策、再エネ推進等に従事。2012年の原子力規制委員会発足時より、原子力規制庁にて広報を担当。2015年9月より米国に留学し、タフツ大学フレッチャースクールにて国際関係学修士を修了。2017年より、資源エネルギー庁新エネルギー課にて再生可能エネルギーの固定価格買取制度を担当。2019年より現職。



## 講演②「排出者責任と生産者責任を繋ぐサーキュラー・エコノミーの実現に向けて」

レコテック株式会社 代表取締役 野崎 衛 氏

北欧製廃プラ圧縮機の日本総代理店にて営業責任者を勤める。製造、物流、流通などあらゆる業界に数千台の設備を導入。廃プラの分別、保管、運搬、買取など静脈サプライチェーンを構築してきた。2007年レコテック社設立後はJICA委託事業のチーフコンサルタントとしてインドネシアでの一般廃棄物処理に関するシステム提案、処理設備の運転実証など取り組んでいる。EPR（拡大生産者責任）を基軸にした回収やリサイクルの海外事例や静脈資源活用のための手法や課題についてお話しします。



## 講演③「ファーストリテイリンググループ 資源の有効活用の取り組み紹介」

株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部

グローバル環境マネジメントチームリーダー 岡田 恵治 氏

ユニクロやGUを展開するファーストリテイリンググループは現在20か国以上でビジネスを展開しています。

使い捨てとなる資源利用についての考え方の違い、無駄な資源利用の削減など、小売業者が抱える課題とこれから取り組んでいくことをご紹介させていただきます。



## 講演④「マテリアルリサイクルの拡大に向けて～分別模範と現状課題～」

株式会社市川環境エンジニアリング

SDGs・ESGプロジェクト プロジェクトマネージャー 篠田 達弘 氏

2007年入社。前職では環境素材の企画開発・提案等を行っており、その経験を生かして製造側とリサイクル側の双方視点でのリサイクル提案、3R推進コンサルティング、循環型商品の企画開発、SDGs関連などに携わってきました。今回はリサイクル率向上や脱炭素社会にむけて積極的に取り組んでいる企業の紹介、並びに実現するうえでの現状課題などをお話させて頂ければと思っています。

## セミナー聴講方法

1. セミナー申込の返信メールに記載された共有URLよりセミナー会場へアクセス
2. 配信期間中に、セミナーを聴講  
※資料は事前にダウンロード配布

### 【注意事項】

- ・視聴にあたって必要となるデータ通信費については、各自で負担ください。
  - ・配信期間終了後の配信は予定しておりません。
- 必ず配信期間中に視聴いただきますよう、お願い申し上げます。

## お問い合わせ



公益財団法人 東京都環境公社

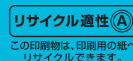
環境事業部 環境事業課 管理係

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 4-26-5

東京トラフィック錦糸町ビル 8階

電話：03-3634-4030

メール：sanpaik@tokyokankyo.jp



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。